

◆小規模の学校を守る

問 榑川地区の児童・生徒数の減少は著しい。地区住民は3年間の検討の末に、義務教育学校移行の方向をまとめ、市教委に設置を要請した。市は課題をどう捉えているか。

答 義務教育学校は一昨年実施できることになった新しいタイプの学校で、小・中を一つの学校としてとらえ、多様な実践と仕組みを学校裁量で実施することが可能になる。教員免許や施設の問題など慎重に検討したい。区域外からも通学が可能になる制度導入も含め、あべき姿を地域でも検討



木曾榑川小学校



利用頻度が低い橋（長野道上）

してほしい。課題は、地域と学校が協働して特色ある教育活動を創り上げることだと考えている。

◆公共施設の管理

問 長野道上にある市道20橋のうち、使用されていない橋について撤去を検討することだが、時期、費用はどのように考えているか。

答 市の管理する橋梁は252橋あるが、撤去、補修などは市の全額負担が原則である。

撤去には国から三分の一の補助があり、さらに自動車道上の橋梁は、道路公団から三分の一の支

援があるので、市の撤去費用は三分の一になる。五次総2期中期戦略に基づき、計画的に修繕工事や集約化を実施したい。

◆市民の税負担を減らす

問 市民の特に高齢者の貧困格差が進んでいる。10月の消費税増税をやめさせ、国保税の負担軽減を図ることが必要と考えるが、市の見解を求める。

答 全国市長会でも消費税導入を求める決議が行われた。どんな団体でも納めなければならぬ最も公平な税制だと考えている。増収となる予定の財源を有効に活用していきたい。

本市の国保税率は3年据え置いているが、県提示の標準保険税率は市よりも大幅に上回り、事業費負担も増え、財政調整基金から繰り入れせざるを得ない厳しい運営状況である。来年度以降の税率については諸要件を加

味し検討したい。

清風クラブ
質問者
平間 正治
中野重則
持ち時間 90分

市民生活に密着した事業の改善を

◆ごみ収集カレンダーの再配布

問 ごみ出しは、日常生活において大変重要な位置を占めており、市においてもルールを徹底するため、ごみ出しカレンダーを作成し、各家庭に配布している。

本年度については、これを改訂したが、従来のものに比べカレンダー部分が小さくなり、見づらいため市民の皆さんに大変不評である。カレンダー部分のみでもよいが、従来のものと同様なものを刷り直し、再配布する考えはあるか。

答 ごみ収集カレンダー



ごみ出しカレンダー（右側が本年度）

については、他市を参考に直しを行ったが、文字が小さいなどの御意見を多くいただいた。来年度見直しをすることとしており、本年度での再配布は費用の関係もあり困難である。

しかし、要望が多いので、白黒ではあるが昨年度と同じ大きさに拡大したものを用意し、必要な方にはお配りするので御理解をお願いしたい。

◆ごみ出し日の見直し

問 現在のごみ出し日は、燃えるごみやプラスチック容器が主体であり、缶類やびん類は月1回程度